

建設通信新聞

3次元総量データの活用」「干渉SAR(合成開口レーダー)時系列解析による全国変動分布図の公開とその活用」の四つの講演がある。

開催時間は午後1時から4時30分まで。入場無料。定員は200人(先着順)。事前登録の締め切りは22日午後1時まで。問い合わせは国土地理院地方測量部・電話011-7091-2311(内線4501)。

測量技術の動向解説

リモートセンシングデータ活用テーマに

国土地理院ら
25日に講習会

国土地理院北海道地方測量部と日本測量協会北海道支部は25日、札幌市の札幌第1合同庁舎で「第20回北海道測量技術講演会―リモートセンシングデータの流通・活用に関する測量技術の最新動向」を開く。

i-Constructi
onやUAV(無人航空機)、高精度測位などの測量分野で、特に活用が期待されているリモートセンシングデータ

の流通・活用に関する最新動向として、北海道のオープンデータの取り組み状況、民間事業者の先進事例や技術開発事例、国土地理院によるデータ公開事例などを紹介する。

「北海道の航空レーザー測量データとオープンデータの活用」「治山事業における点群データの調査、解析、設計への応用」「航空レーザー計測・航空レーザー測深などの